


学会成果報告書

学会名	第 50 回九州人工透析研究会		
大会長所属	九州大学大学院医学研究院 包括的腎不全治療学 教授		
大会長氏名	鶴屋 和彦		
テーマ	腎代替療法 50 年の総括と新たな挑戦		
開催日	2017 年 12 月 3 日	参加人数	2,260 名
場所	ヒルトン福岡シーホーク		
<p>学会サマリー</p> <p>第 50 回九州人工透析研究会を平成 29 年 12 月 3 日、ヒルトン福岡シーホークで開催しました。大会のテーマは「腎代替療法 50 年の総括と新たな挑戦」で、九州における腎代替療法が世界的にも最高レベルであることを若い医師・コメディカルが認識し、今後も継続していくよう、過去 50 年の総括と今後の展望を行いました。</p> <p>特別講演 2 題 一般演題 210 題（口演 106 題、ポスター104 題） ランチョンセミナー 8 題 スイーツセミナー 1 題</p> <p>特別講演として、「腎代替療法 50 年の総括」を、わが国の透析医療を黎明期から牽引してこられた慈恵会医科大学の川口良人先生に、「新たな挑戦」として、腎臓再生医療の第一人者である熊本大学発生医学研究所の西中村隆先生にご講演いただきました。また、シンポジウム 1 では「腎代替療法の動向と未来～先進技術をどう生かすか～」と題して、血液透析、腹膜透析、腎移植の最先端医療について第一人者の先生方にご講演いただき、腎不全医療の過去を知り、未来を展望することができました。さらに、シンポジウム 2 では「透析患者のエンドオブライフを考える」というテーマで 5 人のシンポジストに実際の事例を通して発表いただき、超高齢者や重篤な合併症で寝たきりの透析患者さんの最期をいかに見届けるという重要な問題を考える良い機会になりました。予測（2,000 人）よりも多い 2,260 人もの参加者で、非常に盛会となりました。</p>			